

一般サポーター向け修理研修を行いました。

開催日時

第1回 2017年 9月12日[火]

第2回 2017年12月14日[木]

対象

岐阜県図書館一般サポーター(修理)

目的

修理マニュアルを周知し、修理方法の選定や作業について理解を深める。

内容

【第1回】

- 『岐阜県図書館修理マニュアル』の説明
- セロハンテープを剥がす
- ページの破損を専用テープで直す
- ページがはずれた本を専用のりで直す
- 背表紙の破損を専用テープで直す
- 本体と表紙を合体する

【第2回】

- 糸かがり(複数の束、一つの束)
- 本体と表紙を合体する(2度目)

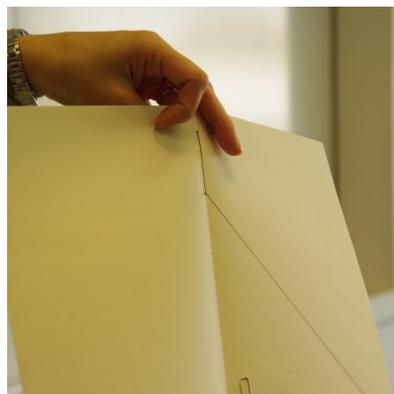
修理の様子



専用テープで直す

セロハンテープでの補修は紙の劣化が進みます。

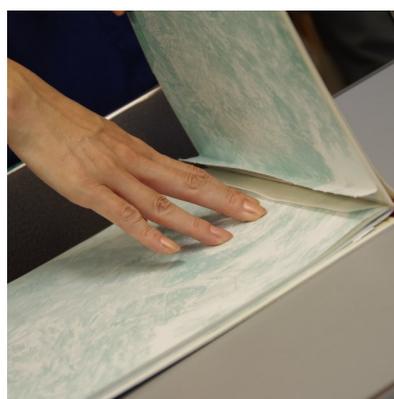
そのためセロハンテープをはがし、破れている箇所を専用テープで貼り付けています。



糸かがり

糸でかがる実習をしました。

製本するうえで代表的な方法が糸かがりであり、基本として押さえておきたい修理方法です。



本体と表紙の合体

ページの小口が揃うように位置を確認し丁寧に仕上げます。

この仕上がりが修理後の出来栄えに大きく影響します。

岐阜県図書館を利用される皆様へお願い

たくさん読まれて傷んでしまった本は、適切な修理をすることで、また皆さんの手に渡ります。

図書館の本に破損を見つけたり破損してしまった時は、ご自身で修理を行わず、破損した状態で職員へお知らせください。